

第46回

創作テレビドラマ大賞 公開講座

～オリジナル 何を書くか、どう書くか?～

日時：2021年5月30日(日)
15:00～17:30 (5分前までに準備をお願い致します)

オンライン (Zoom・ウェビナー)

受講料：2,000円 (先着200名まで)

お申込み：Peatix チケットサイトよりご購入ください。

※受講方法などの詳細は日本放送作家協会のHPをご覧ください。



第1部

■講演「選ばれる脚本、ポイントはここだ！」

講師：久松 真一

■講演「『カントリーロード』執筆の 切っ掛けから 創作テレビドラマ大賞受賞まで」

講師：船越 凡平

■講演「脚本作りからすべてが始まる」

講師：訓覇 圭

■講演「大賞受賞からよるドラ執筆へ！ その道程」

講師：あべ 美佳

第2部

■座談会「オリジナル 何を書くか、どう書くか？」

「オリジナルっていうけど、何を書けばいいの?」「創作テレビドラマ大賞に、適した題材は?」「やっぱり現代の世相にのらなきやだよな?」などなど悩みながら執筆中の方々へ、本日登壇の皆さまに、「グッと胸を掴まれるオリジナル作品」について語って頂きます! (質疑応答あり)

司会：井出 真理

出席：久松 真一、あべ 美佳、船越 凡平、
訓覇 圭、西村 武五郎

※内容は一部変更する場合があります。

【出演者】

久松 真一 (脚本家)

富良野塾にて巨匠・倉本聰に師事した後、1991年に脚本家としてデビュー。テレビドラマ作品に『逆転の夏』『玄海～わたしの海へ』(放送文化基金賞テレビドラマ部門本賞)、『再生巨流』(APT賞テレビドラマ部門優秀賞)、『きんぴか』など、映画作品に『64 (ロクヨン) 前編/後編』(日本アカデミー賞優秀作品賞・優秀脚本賞) ほか執筆。

あべ 美佳 (脚本家)

山形の専業農家に生まれる。2004年『曲がれない川』で創作テレビドラマ大賞・大賞受賞。テレビドラマ作品に『お米のなみだ』(東京ドラマアウォード・ローカルドラマ賞)、『いいね! 光源氏くん』、アニメ作品に『ピアノの森』『団地ともお』など。

船越 凡平 (脚本家・第45回創作テレビドラマ大賞受賞者)

京都府出身。エンゼミナールで映画制作を学び、2015年『とっこ将太』で伊参スタジオ映画祭シナリオ大賞・短編の部で大賞受賞。その後、映画美学学校・脚本コースで脚本を学び、2020年『カントリーロード』で第45回創作テレビドラマ大賞・大賞受賞。

訓覇 圭 (NHK制作局第4制作ユニット (ドラマ)、チーフ・プロデューサー)

西村 武五郎 (NHK制作局第4制作ユニット (ドラマ)、チーフ・ディレクター)

2021年4月12日より放送の、よるドラ『きれいのくに』で、訓覇さんは制作統括、西村さんはチーフ・ディレクターを担当しています。

井出 真理 (脚本家)

日本放送作家協会・公募プロジェクト担当。ラジオドラマ作品に、FMシアター『バスで行く人』『幸福な部屋』(共に芸術祭優秀賞)、『戦争の歌がきこえる』ほか。テレビドラマ作品にドラマ10『全力離婚相談』、映画作品に『千年の愉楽』など。